リーディングDXスクール事業 【実践事例】

相馬市立中村第二小学校（福島県）

【取組内容①】 個別最適な学びから協働的な学びにつなぐ学習支援ソフトを活用した学習課題づくり

実践のポイント 学習支援ソフトを活用し、個々のふり返りから全体の課題づくりにつなぐ。

１．授業の実際

４年社会科「住みよいくらしをつくる　水はどこから」

ねらい：どうすれば水を大切にできるのか。自分の考えとその根拠をもって、全体で交流する活動を通して、自分の考えを広げ、深めることができる。

２．ＩＣＴコンテンツの活用

○前時までの個々のふり返りシートから、児童の言葉を「ワードクラウド」で表示し、多用の言葉から本時のねらいにつなぐ。

○「ワードクラウド」によって、児童たちが使用してきた言葉を累積、可視化する。

ワードクラウドを表示

それぞれの考えの視覚化と共有

３．ＩＣＴ機器等の活用の効果

○学習支援ソフトを活用することで、個々の学習のふり返りを累積することができた。
○課題づくりの際に、個々の学習のふり返りをタブレットで素早く表示することができた。